

## 0-15

### 乳酸菌 *Enterococcus faecalis* の代替医療に関する薬理的検証

Pharmacological studies of lactic bacteria, EF-2001 on alternative medicine

○只野 武<sup>1)</sup>、川畑 哲郎<sup>1)</sup>、辰野 貴則<sup>1)</sup>、島野 康子<sup>1)</sup>、高野 文英<sup>2)</sup>、  
中川西 修<sup>3)</sup>、丹野 孝一<sup>3)</sup>、太田 富久<sup>1)</sup>

1) 金沢大学医薬保健、2) 日本薬科大学漢方薬学分野、  
3) 東北薬科大学薬理学教室、4) 金沢学院大学食物栄養学科

The lactic bacteria has been widely used by mixing various food as supplement. The present study was to investigate the pharmacological effect on lactic bacteria such as *Enterococcus faecalis* (EF-2001). EF-2001 showed facilitation of intestinal transit, inhibition of Concanavari A-induced hepatitis and elevating IgA and IgG1. These results suggest that lactic bacteria, EF-2001 will be a suitable supplement to take alternative and protective medicine.

#### 【目的】

乳酸菌の代替医療における有用性を明らかにするためにバイオジェネクスに分類されているエンテロコッカス属のフェカリス種からの菌種を加熱処理し、細胞壁から有効成分を抽出した EF-2001 の効果を主に病態モデル動物を対象として検討した。

#### 【方法】

動物は ddY 系雄性マウスを用い、投与方法は単回或いは連続経口適用である。便秘モデルは LPS 誘発性腸管輸送能低下マウス、肝炎モデルは Concanavarin A 誘発性肝炎マウス、免疫応答はパイエル板細胞で行った。

#### 【結果】

EF-2001 は単回投与で LPS による腸管輸送能低下マウスの機能を改善させ、Concanavarin A 誘発性肝炎マウスの ALT および AST 値の上昇を抑えた。EF-2001 の連続投与はパイエル板細胞の IFN- $\gamma$ 、IgA および IgG1 の産生量を増加させ、その作用は *Lactobacillus* の乳酸菌より強力であった。

#### 【結論】

EF-2001 は便秘の改善、肝機能改善などの作用の他、病原菌や癌の発症に対する抵抗性や組織構築を強化し、また、抗体産生を亢進して腸内環境を整える作用がある。